

公益財団法人 檜の芽会 御中

伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		① 作成日	令和 8 年 4 月 1 日
②法人・団体名	高槻つばめ学習会		
③所 在 地	〒569-1121 高槻市真上町 1-10-6		
④責任者氏名	大西幸夫	(役職名等)	代表
⑤担当者氏名	大西幸夫	(役職名等)	代表

【奨学活動の概要】					
⑥助成交付決定番号	R07-002	⑦助成金額	40 万円	⑧申請カテゴリー	任意団体
⑨奨学活動名	経済的な理由で通塾出来ない生徒への無料学習支援活動				
⑩主な実施場所	高槻市城内公民館など				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

- ❶毎・土曜日の学習支援（午後 1 時～5 時）
- ❷教材、模試代、英検受検料などの援助
- ❸PC・タブレットの貸し出しによるオンライン学習対応、Cloud を活用したオンライン連絡帳の活用
- ❹保護者へのサポート（中 3 生には 2 者懇談を実施、学習相談・情報提供を行なった）
- ❺外国ルーツ生(ネパール人姉妹)の英数及び日本語指導

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A : 人)	平均時間 (B : 時間)	活動量 (A x B)	備考・補足
中学生等	341	4	1,364	
高校生等	47	3	141	
大学生等				
学習支援員等	457	5	2,285	
その他	24	3	72	小 6
合 計			3,832	

* 2025 年 7 月～2026 年 3 月末までの実数

⑬その他の定量的な数値（任意）

令和 7 年度 伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：経済的な理由で通塾出来ない生徒への無料学習支援活動

法人・団体名：高槻つばめ学習会

作成者 氏名：大西幸夫

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

- ①定例の土曜学習会の円滑な運営⇒講師増員による個別指導の安定的拡大
- ②外国ルーツ生(ネパール人姉妹)2名の受け入れー日本で生活できるだけの日本語力・学力を付ける体制確立
- ③X・Facebook など SNS を活用した生徒勧誘活動の強化

2. 実施した奨学活動の詳細 (2025 年 7 月～2026 年 3 月)

©2025 年 7 月 19 日 夏の勉強合宿 Part 1 朝から夕方まで勉強漬け。場所は、芸術文化劇場・スタジオ公民館と違った洒落た雰囲気講師も生徒もモチベーションが上がりました。



©2025 年 8 月 23 日 夏の勉強合宿 Part 2



いつもの城内公民館

まだまだ宿題が残っていて、講師も生徒も追い込みです。

©2025 年 8 月 30 日 昨年迎えたネパール人姉妹も完全に馴染んで笑顔です。(見せられないのが残念)
姉の方は日本語指導の成果で、普通に近いコミュニケーションが出来るようになった。



これは放課後ゲームに興じる風景

©2025 年 9 月 13 日 放課後の学年を超えた理科の集団授業。お互いに助け・助けられての学習です。



教材研究をしてくれる講師の熱意には感謝しかありません。

3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

◎定例の土曜学習会の授業だけでなく、保護者との親睦、講師間の懇親を深める事が出来た。

◎会の最大目標でもある「生徒の家庭での自習習慣の獲得」のために、貴会助成で購入した iPad や寄贈 Let'sNote を ZOOM 授業のみならず、家での自習ツールとして活用できるように生徒には働きかけていく。

◎SNS での保護者連絡網は確立出来ていたが、新たに中3生については2者面談を実施した。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

◎生徒の個性や能力は、学習会だけでなく、課外のゲーム遊びなどで新しい発見をすることが多い。

外国ルーツ生と日本人中学生との「学年も国籍も超えた」交流が完全に普段の風景となった。

◎行政でも的確な対応が出来ずに、当会に駆け込むようなケースが徐々に増えている。

グレーゾーンを含む発達障害を抱えた生徒や不登校などに対しての対応が求められることが増えており、あくまで素人のボランティア団体でもあり、専門家との連携が課題である。

5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリーにて「S」が付されている団体）